

令和4年3月1日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

ムーンショット型研究開発事業の プロジェクトマネージャー追加公募について

JST（理事長 濱口 道成）は、ムーンショット型研究開発事業において、ムーンショット目標1、3、6の達成に向けた研究開発を推進するにあたり、プロジェクトマネージャー（PM）を追加公募します。

ムーンショット型研究開発事業は、超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的研究開発を推進すべき分野・領域などとして文部科学省により定められた研究開発構想に基づき、研究開発を推進するものです。ムーンショット目標に関する研究開発全体の責任者である構想ディレクター（PD）の下、プロジェクトマネージャー（PM）は、ムーンショット目標達成および研究開発構想実現に至るシナリオの策定、研究開発プロジェクトの設計、研究開発体制の構築、研究開発プロジェクトの実施管理などを行います。

今回PMを追加公募するムーンショット目標1、3、6は2020年度より研究開発が進められていますが、各目標の達成のため、既存の研究開発プロジェクトに加えて新たに必要となる研究開発プロジェクトを推進することとしました。

令和4年3月1日（火）～5月10日（火）正午までムーンショット目標ごとにPMを公募し、PDが外部有識者らの協力を得ながらPMを選考します。

PMを追加公募するムーンショット目標およびPDは以下の通りです。

- （1）ムーンショット目標1「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」
（PD：萩田 紀博（大阪芸術大学 芸術学部 アートサイエンス学科 学科長／教授））
- （2）ムーンショット目標3「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現」
（PD：福田 敏男（名城大学 大学院理工学研究科 教授））
- （3）ムーンショット目標6「2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現」
（PD：北川 勝浩（大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授））

詳細はムーンショット型研究開発事業のウェブサイトをご覧ください。

URL <https://www.jst.go.jp/moonshot/koubo/202112/>

<添付資料>

別紙：ムーンショット型研究開発事業におけるプロジェクトマネージャー追加公募の概要

<問い合わせ先>

科学技術振興機構 挑戦的研究開発プログラム部

小西 隆（コニシ タカシ）

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K' s 五番町

Tel : 03-5214-8419 Fax : 03-5214-8427

E-mail : moonshot-koubo[at]jst.go.jp

※電子メールでお問い合わせください。

ムーンショット型研究開発事業における プロジェクトマネージャー追加公募の概要

1. 事業の趣旨

超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対して、国が定めた人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）の達成に向け、挑戦的研究開発を推進すべき分野・領域などとして文部科学省により定められた研究開発構想に基づき、研究開発を推進します。

2. 事業の特徴

ムーンショット目標に関する研究開発全体の責任者である構想ディレクター（PD）の下、プロジェクトマネージャー（PM）は、ムーンショット目標達成および研究開発構想実現に至るシナリオの策定、研究開発プロジェクトの設計、研究開発体制の構築、研究開発プロジェクトの実施管理など（以下、「PM活動」という。）を行います。

採択されたPMは、PDの助言・指導の下、研究開発プロジェクトの作り込みを行い、研究開発の体制を含む、研究開発プロジェクトの詳細計画の立案および、PMの雇用主たる機関（代表機関）による支援体制を構築します。PDにより、作り込みの内容が妥当と認められた場合には、研究開発プロジェクトの実施が可能となります。なお、作り込み期間はPMの採択後、原則約1ヵ月以内とします。

研究開発プロジェクトは、PMの指示に基づき、課題推進者が分担して実施します。このため、PMは可能な限り高いエフォートで専らPM活動に従事することを応募の要件とします。ただし、研究開発プロジェクトの一部の研究開発をPM自らが実施することが成果を得る上で極めて効果的であるとPDが判断した場合は、課題推進者として研究開発に参画することを認める場合があります。

3. 公募期間・PMを追加公募するムーンショット目標、PD、および研究開発テーマ ＜公募期間＞

令和4年3月1日（火）～令和4年5月10日（火）正午

＜PMを追加公募するムーンショット目標およびPD＞

- （1）ムーンショット目標1「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」
（PD：萩田 紀博（大阪芸術大学 芸術学部 アートサイエンス学科 学科長／教授））
- （2）ムーンショット目標3「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現」
（PD：福田 敏男（名城大学 大学院理工学研究科 教授））
- （3）ムーンショット目標6「2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現」
（PD：北川 勝浩（大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授））

＜公募する研究開発テーマ＞

ムーンショット目標	公募する研究開発テーマ
ムーンショット目標 1 2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現	(1) 体内でも活用できるCA（サイバネティック・アバター）の研究開発 (2) CAの安全・安心・信頼性を確保する社会受容基盤の研究開発
ムーンショット目標 3 2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現	(1) 宇宙を活動の場とした拠点構築のためのAIロボット技術 (2) 人の発想・ひらめき・行動変容を誘発させるためのAI技術
ムーンショット目標 6 2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現	(1) 誤り耐性獲得に有望な量子ハードウェア（固体系）の研究開発 (2) 誤り耐性獲得に有望な量子ハードウェア（原子系など）の研究開発 (3) 大規模量子通信ネットワークの実証的研究開発 (4) 量子誤り訂正用情報処理システムの研究開発

4. 提案の受付方法

＜応募方法＞

「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」により受け付けます。

府省共通研究開発管理システム（e-Rad）ポータルサイト

URL <https://www.e-rad.go.jp/>

＜公募要領、選考スケジュール＞

詳細はムーンショット型研究開発事業のウェブサイトを参照してください。

URL <https://www.jst.go.jp/moonshot/koubo/202112/>

5. 公募に関する問い合わせ先

科学技術振興機構 挑戦的研究開発プログラム部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町

Tel : 03-5214-8419 Fax : 03-5214-8427

E-mail : moonshot-koubo[at]jst.go.jp

※電子メールでお問い合わせください。